

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日:平成30年12月12日

事業所名: 通園(デイサービス)事業 おれんじくらぶ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 | | |
|-------------|--|----------|---------------|-----|--|----------|---------------|-----|-------|--|---|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 | |
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 3 | | 1 | 人数によってはパーテーションで仕切って個別室を設置、目的にあわせてその都度スペースを確保できている。 人数やメンバーを調整することで、適切な空間の使い方をして | 14 | | | | ・広さは十分に確保されていると思います。 ・親子でのびのび活動させてもらってます。 | | |
| | 2 職員の適切な配置 | 4 | | | 準備から記録までのサイクルがうまくいかないと思う時や、したいことに手が回らないと感じることもあり、職員数に余裕があればと思うこともある。 | 13 | 1 | | | ・今のところ人数が少ないときはいいですが、人数が増えてくると先生の人数を増やしてほしいです。 | | |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備 | 1 | | 3 | それぞれのこの特性として、視覚的に支援が適切と思われる子に対し、写真、絵カードを使うなどの方法が十分にできていない。 空間が限られているため、明確に空間を区切ることはできない。 パーテーションなどを使い、必要な場所を確保している。 ワンルームを使用しているため、わかりやすい構造化とはいえない。 | 13 | | | 1 | | 現状において、施設改修について現実的でないため、職員の配慮等により適切に対応したいと考えます。 | |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 3 | | 1 | 自由遊びのスペースとして広い空間しかない。子どもによっては、小さな空間で仕切りをして遊ぶことで落ち着ける場合もあるため、その空間が必要と思われる。 活動に合わせた空間を作るようにしている。 | 14 | | | | | | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 |
|------------------|---|----------|---------------|-----|---|----------|---------------|-----|-------|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)への職員の積極的 な参画 | 2 | | 2 | | / | / | / | / | |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改 善の実施 | | | 4 | 未実施 | / | / | / | / | 今後は第三者による外部評価を 検討したい。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会 の確保 | 4 | | | 年3回、職員、保護者、関係者を 対象に大学教授の講演会を開 催。その他内部研修の実施と外 部研修への参加をしている。 | / | / | / | / | これまでの研修に加え、町内の 有識者による定期的な勉強会を 実施したい。 |
| 適切な支 援の提 供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 での児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画の作成 | 4 | | | | 14 | | | | |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画における子どもの支援に必 要な項目の設定及び具体的な支援内容 の記載 | | | 4 | 地域支援の部分で学校、幼稚 園。、保育所等との連携が取れ ていない。 見直しや照らし合わせはできて いない。 | 12 | | | 2 | |
| | 3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせた児童発達支援 又は放課後等デイサービス計画の作成 | 4 | | | | / | / | / | / | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|--------------|--------|----------|-----------|-----|---|----------|-----------|-----|-------|------------------|---|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| 関係機関との連携 | 1 | | 4 | | 児童発達支援管理者が出席している。 | | | | | | |
| | 2 | | | | | | | | | | |
| 関係機関との連携（続き） | 3 | | | | | | | | | | |
| | 4 | | | 4 | 必要性を感じる。並行通園の子供が多いので、移行はできないが、保育所や幼稚園に赴き情報共有し連携を図ることで、支援内容の統一を目指したい。 | | | | | | |
| | 5 | | | 4 | 地元の学校を卒業するとそのあとの関係機関との関係性が薄れることの方が多いため、今のところ検討はしていない。また、これまでに情報の提供を求められることもなかったが、今後は必要性があると考えている。 | | | | | | 今後においては、保護者、町担当課との連携を強化し、他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行ができるよう情報提供を行っていきたいと考える。 |
| | 6 | | 4 | | 療育支援事業の利用により、研修の機会を設けていることを継続させてもらいたい。 | | | | | | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 | |
|----|--|----------|---------------|-----|---|----------|---------------|-----|-------|---------------------------------------|---------------------------|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| C | 7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供 | 4 | | | 必要性を感じる。 同じ施設内に保育所があるが、ほとんど交流はないため、交流していきたい。 | 11 | | | | ・保育園に通っているのに、障害のない子供さんとはそちらで十分接しています。 | |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | | | 4 | | | | | | | 今後、活動の講師としての参加依頼等検討を行いたい。 |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|----------------|--|----------|-----------|-----|--|----------|-----------|-----|-------|---|--|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 3 | | 1 | ガイドラインの説明はできていない。 | 13 | 1 | | | | |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | | | | アンケート未実施 | 12 | | | 2 | | |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 2 | | 2 | 町の事業としての講座に参加している。 当事業所でも取り組みたいと思う。 | 9 | 2 | | 3 | ペアレントトレーニングになるのかどうかの判断はできませんが、親(個々)の悩みなどよくお話を聞いていただいています。 | |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 4 | | | | 12 | 1 | | 1 | | |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | | | 4 | 定期的ではなく、その都度行っている。 | 13 | | | 1 | いつでも相談すると、丁寧に教えていただけます。 | 約9割の保護者が「はい」と回答している。今後も保護者一人一人に、丁寧な助言を行って行きたい。 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 4 | | | | 8 | 1 | 1 | 4 | 参加する保護者がいつも同じ人ですが、その中では、十分できていると思います。 | |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | | | | アンケート未実施 | 12 | 1 | | 1 | ・心配事を気軽に相談できる環境でありがたいです。 ・アドバイスをいただき、心強く思っています。 | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | | | | |
|---------|--------|----------|-----------|-----|---|----------|-----------|-----|---|------------------|-----------|---|---|---|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 | | | |
| 支援（続き） | 8 | | | | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 4 | | | 行っている。 | 13 | | | 1 | 今後も保護者一人一人に、丁寧に意思の疎通等図っていききたい。 |
| | 9 | | | | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | | | 4 | 会報等の発行はしておらず定期的にはしておらず、年に1回の保護者の文集としての発行はしている。行事等については大きなものは発信しているが、もっとわかりやすく必要な情報についての発信が必要だと思われる。 | 8 | 2 | | 4 | 今後はホームページの活用等検討していきたい。 |
| | 10 | | | | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 4 | | | | 9 | | | | |
| 非常時等の対応 | 1 | | | | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | | | 4 | どちらともいえない。感染症対応マニュアルは十分ではない。より困難さが想定される利用児を対象に保護者の了解の許実施するべきである。 | 4 | 2 | | 8 | 緊急時対応マニュアル等、早急に検討、整備を行い。職員や保護者へ周知徹底を図りたい。 |
| | 2 | | | | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 4 | | | 併設の同法人の保育所が行う時に月1回程度実施している。また、保護者には、把握していただけるように努めたい。 | 2 | 2 | 1 | 9 | 保護者の方が「わからない」と回答した方が半分以上を占めている状況であるため、訓練の周知、実施等お知らせいたしたい。 |
| 非常時等の対応 | 3 | | | | 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 | 4 | | | | | | | | |
| | 4 | | | | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | | | 4 | 組織的な決定も保護者への説明もできていないため、実施の必要がある。 | | | | | 組織的な決定も保護者への説明もできていないため、実施を検討していきたい。 |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 | |
|------------|---------------------------------------|----------|---------------|-----|---|----------|---------------|-----|-------|----------------------|-------------------|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| 対応 (続き) | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | | | 4 | 給食はないが、おやつやクッキングの際、講演会の託児の際などアレルギー等の確認を行っている。 | | | | | | |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | | | 4 | | | | | | | 職員間での共有を徹底していきたい。 |